

農地造成・区画整理に加え、畑かん用水の活用による安定経営を確立 ～佐伯 一郎 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成17年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい

経営面積：40.0ha



事業実施後：平成28年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、
大豆、にんじん、ごぼう

経営面積：51.4ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

事業実施早期に農地造成・区画整理を行い、経営規模の拡大・農作業の効率化を図るとともに、地域内で最も早く畑かん用水を利用した経営を展開し、後継者が確保できたことから高収益作物を導入した。

営農改善のポイント

①事業早期の農地造成による規模拡大

事業早期（昭和58年頃）から、隣接町にも跨がる農地造成（10ha）と整地工（39ha）を契機として、積極的な規模拡大を図った。



整備されたばれいしょ畑

②野菜類の導入

経営面積が拡大する中、限られた労働力で小麦・ばれいしょ・てんさいの畑作3品を基幹とした経営を進めてきたが、後継者の就農による労働力の確保と所得向上を図るため、にんじん・ごぼうなどの高収益作物を導入し経営が安定し所得の向上が図られた。



リールマシン

③畑かん用水の活用

地区内の畑かん用水利用の先駆けとして、事業実施初期からのほ場での畑かん用水利用の実施に協力。近年は、てんさい初期活着、大豆、にんじん、ごぼうへのかん水を実施し、生産性、品質の向上に努めている。

事業概要

事業種：畑地帯総合土地改良パイロット事業

関係市町：斜里郡小清水町

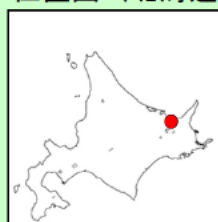
受益面積：12,910ha

事業期間：昭和53年～平成21年

事業目的：用水改良、畑地かんがい、排水改良、
農地造成、区画整理

主要工事：ダム1箇所、頭首工3箇所、用水路229.7km、
排水路9.1km、道路32.5km、
農地造成453ha、区画整理7,593ha

位置図（北海道）



小清水地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部
農業振興課 調整係

電話：011-709-2311

（内線5684）

（平成28年度調査時点）